

# 平成 30 年度横浜市高等学校奨学生募集要項

横浜市教育委員会

高等学校に在学し経済的理由のため修学が困難な方へ奨学金を支給する制度です。

## 1 応募資格（次の（１）から（４）のすべてを満たす方が申請できます）

（１）保護者が横浜市内在住の方

（２）高等学校に在学し、品行方正な方

※学校は市内・市外、公立・私立を問いません。

※高等学校には、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程を含みます。

（３）学業成績が前年度（新３年生以上は前年及び前々年）の全履修教科・科目の評定  
平均値が５段階評価で４．００以上の方

・新１年生の場合は、中学校第３学年の全履修教科

・新２年生の場合は、高等学校第１学年の全履修科目

・新３年生以上の場合は、前年と前々年の２年間の全履修科目

※中学校には、特別支援学校の中等部、中等教育学校の前期課程、義務教育学校の  
後期課程を含みます。

（４）家計の収入状況が年間８００万円以下程度（目安）で学資の支払いが困難な方

## 2 支給額（返還不要）

月額 ５,０００円（年額 ６０,０００円）

※他の奨学金（貸付型を含む）とは併給できません。ただし、併願はできます。

※「高等学校等就学支援金」や「神奈川県高校生等奨学給付金」とは併給できます。

## 3 支給期間

卒業（正規の修業年限）まで支給します。

※修業状況によっては継続できない場合もあります。

## 4 新規募集人数・選考方法

４８０人程度。申請多数の場合は生計状況を優先させ、生計状況が同程度の場合は、  
学業成績が上位の方から採用し、募集人数の範囲内で決定します。

## 5 提出期限

在学する高等学校により異なります。高等学校へお問い合わせください。

高等学校から横浜市教育委員会への提出期限は平成30年4月27日（金）です。

## 6 申請方法

申請書類一式を、在学する高等学校へ提出してください。

※前年以前に本奨学生として採用されている方は、提出不要です。

## 7 個人情報

提出された書類は奨学生採用決定事務のみに使用し、個人情報は慎重に取り扱います。

## 8 問合せ先

〒231-0017 横浜市中区港町1-1 横浜市教育委員会事務局高校教育課

電話 045(671)3272 FAX 045(640)1866 受付時間 8:45~17:15（土日祝除く）

※募集要項・書式は次の URL からダウンロードも可能です。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/sidou2/syogakukin/>

## 9 申請書類

- (1) 奨学生願書 (様式①) (本人・保護者が記入)
- (2) 奨学生推薦調書 (様式②) (高等学校で作成)
- (3) 奨学生推薦証明書 (様式③) (新1年生のみ。出身中学校で作成)
- (4) 家計の収入状況を示すすべての書類
- (5) 特別控除に関する書類 (該当する世帯のみ。生計状況確認時に控除の可能性あり)

### ※(4) 家計の収入状況を示す書類について

- ① 給与と年金など、複数の収入がある場合はすべての証明書類が必要です。
- ② パートやアルバイトも、給与収入として証明書類の提出が必要です。
- ③ 書類に不備がある場合は、選考の対象となりませんのでご注意ください。

収入等の種類	証明書類 (写しで構いません)
給与収入 (現職分のみ。応募時点で退職済のものは申請対象外)	平成29年分源泉徴収票 <源泉徴収票に代替できるもの> ※直近3か月分の給与支払明細書：転職等に伴い、現職分の源泉徴収票が無い場合 ※給与額わかる雇用契約書等：平成30年4月の就職等により、応募時点で給与支払実績の無い場合 ※市県民税課税(非課税)証明書は提出不可
事業収入 (自営業等)	平成29年分確定申告書(控) ※税務署受付印のあるもの。e-Tax利用の場合は、受信通知及び申告データ出力分を提出
年金	平成29年分源泉徴収票、金額改定通知書、年金振込通知書 ※いずれかで可(入金された年金額がわかるもの)
児童扶養手当 (ひとり親家庭等。 児童手当は申請対象外)	児童扶養手当証書
失業等給付収入 (雇用保険)	雇用保険受給資格者証 ※第1～4面すべてを提出
生活保護	保護証明書(居住区の福祉保健センター長発行の世帯全員分) ※保護証明書を提出すれば、その他収入証明は提出不要
児童養護施設入所者	施設長による入所証明書
私的扶助等 (仕送り、養育費等)	月々の収入状況がわかるもの ※通帳の写しなど

### ※(5) 特別控除に関する書類について

次の書類をそろえ、願書の右下(枠外)に赤字で「特別控除あり」と記入してください。

控除の種類	証明書類 (写しで構いません)
障害者がいる世帯	障害者手帳など、障害状況がわかるもの
応募時点で6か月以上の長期療養者がいる世帯	領収書など、治療費がわかるもの
主たる家計支持者が別居している世帯(単身赴任等)	直近3か月分の家賃・水道光熱費がわかるもの

## 10 (一財)岩崎与四郎育英会奨学生について


不採用となった方の中から、候補者順に(一財)岩崎与四郎育英会奨学生として推薦します。新規推薦人数は10人程度とし、資格・支給内容は横浜市奨学生と同様です。

推薦については、横浜市奨学生の選考結果とあわせて高等学校に通知します。また、推薦候補者の個人情報、推薦に必要な項目のみ(一財)岩崎与四郎育英会へ提供します。

## (横浜市高等学校奨学生申請手続きの注意事項：本人用)

### 1 申請手続きと決定・支給の流れ

次の書類をそろえて、在学する高等学校が定めた期限までに学校へ提出してください。

- 
- ① 奨学生願書〈様式①〉
  - ② 奨学生推薦証明書〈様式③〉  
※新1年生のみ必要です。出身中学校に作成を依頼してください。
  - ③ 家計の収入状況を示すすべての書類（2ページ参照）
  - ④ 特別控除に関する書類（2ページ参照）

#### 選考結果

6月下旬頃、在学する高等学校あてに通知します。

#### 支給

高等学校長を通じて、年3回に分けて支給します。  
※学校への支給時期は7月・8月・12月を予定しています。

### 2 願書作成上の注意

- (1) 生計を同じくする家族について
  - ・本人を含め家族全員を記入してください。
  - ・単身赴任等で別居の場合も記入し、「続柄」を○で囲んでください。
- (2) 収入の状況について
  - ・収入の種類に○をつけてください。
- (3) ひとり親家庭等に該当する場合  
「奨学金を必要とする理由」欄に児童扶養手当受給の有無を記入してください。  
※別紙「奨学生願書記入例」を参照
- (4) 特別控除を申請する場合  
「奨学金を必要とする理由」欄に該当内容を詳しく記入してください。  
また、奨学生願書の右下（枠外）に赤字で「特別控除あり」と記入してください。
- (5) 署名欄について  
本人と保護者がそれぞれ自署してください。

### 3 申請書類提出時の注意

奨学生願書と同じ大きさ（A4判）の白紙に、各証明書類を重ねずのり付けしてください。

### 4 奨学生採用決定の取り消し

偽りその他不正な手段で奨学生採用の決定を受けた場合は、その決定を取り消すことがあります。

## 平成 30 年度横浜市高等学校奨学生募集 家計の収入状況を示す書類についてのQ&A

### 提出対象者について

Q：保護者の収入状況がわかる書類を準備すればよいのですか？

A：収入状況のわかる書類は、生計を同じくする家族全員分が必要です。  
本人や他家族のアルバイト、祖父・祖母の年金収入なども対象となります。

### 給与（パート・アルバイト含む）

Q：源泉徴収票が提出できません。

A：源泉徴収票の代わりに、次の書類を提出してください。

①直近3か月分の給与支払明細書：転職等に伴い、現職分の源泉徴収票が無い場合

②給与額のわかる雇用契約書等：平成30年4月の就職等により、応募時点で給与支払実績の無い場合

Q：「就学支援金」と同じ書類を提出すればよいのですか？

A：高等学校等就学支援金の申請で提出を求める次の書類は、提出できません。

平成29年度市町村民税・県民税特別徴収税額通知書

平成29年度市町村民税・県民税税額決定・納税通知書

平成29年度市町村民税・県民税課税（非課税）証明書

Q：仕事をかけもちしている家族がいます。

A：勤務先ごとの収入証明書類を、すべて提出してください。

Q：退職した仕事の収入証明書類は必要ですか？

A：応募時点で退職済の給与収入証明書類は、必要ありません。

### 事業（自営業等）

Q：確定申告書の控えに、税務署受付印がありません。

A：横浜市教育委員会事務局高校教育課(045-671-3272)までお問い合わせください。

Q：確定申告書以外の書類は必要ですか？

A：青色申告書や消費税申告書など、確定申告書以外の書類は提出不要です。

### ひとり親家庭等の方

Q：児童扶養手当を受給していません。

A：願書の「奨学金を必要とする理由」欄に、その旨を記入してください。

奨 学 生 願 書										
本 人	フリガナ 氏名				性別	男 ・ 女	生年月日 等	年	月	日 ( 歳 )
	現住所	〒								
	在学 学校名等	(全日制・定時制・通信制) 高等学校					(転)入学	年 月		卒業予定 年 月
保 護 者	氏名			年齢	歳	本人との続柄	職業		有 ・ 無	
	現住所	〒					連絡先 (自宅TEL)			
生 計 を 同 じ く す る 家 族	本人 との 続 柄	氏名	年齢	収入の状況			在学の状況			
				収入の種類			学校 設置者	在学 学校名	在学して いる学校 (注)	
	本人			給与・事業・公的扶助・年金 ・その他( )			公立 私立			
				給与・事業・公的扶助・年金 ・その他( )			公立 私立			
				給与・事業・公的扶助・年金 ・その他( )			公立 私立			
				給与・事業・公的扶助・年金 ・その他( )			公立 私立			
				給与・事業・公的扶助・年金 ・その他( )			公立 私立			
				給与・事業・公的扶助・年金 ・その他( )			公立 私立			
				給与・事業・公的扶助・年金 ・その他( )			公立 私立			
奨学金を必要 とする理由 (詳しく書いて ください。)		<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>								
横浜市奨学生として奨学金の支給を受けたいので願い出ます。 年 月 日 (あて先) 横浜市教育委員会教育長 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <span>本人</span> <span>保護者</span> </div>										

(注) (以下の①～⑨の番号を記入してください。)

- ①小学校、②中学校、③高等学校、④高等専門学校、⑤専修学校（高等課程）、
- ⑥専修学校（専門課程）、⑦短期大学、⑧大学、⑨大学院を記入してください。
- 科目履修生・聴講生・研究生、専修学校（一般課程）、各種学校（予備校・
- 職業訓練校・農業大学校等）は除きます。

# 《奨学生願書記入例》

〈様式①〉

第1号様式（第2条第1項）

奨 学 生 願 書										
本 人	フリガナ 氏 名	ヨコハマ ｲﾛｲﾛ <b>横浜 一郎</b>	性 別	(男) ・ 女	生年月日 等	○ 年 ○ 月 △ 日 (△△歳)				
	現住所	〒231-0017 横浜市中区港町1-1 教育第一ハイツ202								
保 護 者	在学 学校名等	○○ 高等学校	(全日制)・定時制・通信制	新学年 を記入	2 年	学 定	○ 年 ○ 月 ○ 年 ○ 月			
	氏 名	<b>横浜奈美</b>	年 齢	×△歳	本人との続柄	母	職 業	(有) ・ 無		
生 計 を 同 じ く す る 家 族	現住所	〒231-0017 横浜市中区港町1-1 教育第一ハイツ202				連 絡 先 (自宅TEL)	(△△△) ××××			
	本人との 続 柄	氏 名	年 齢	収 入 の 状 況	在 学 の 状 況					
本 人	本人	<b>横浜 一郎</b>	△△	収入の種類 給与・事業・公的扶助・年金 ・その他( )	学校 設置者	公立 私立	在 学 学校名	○○高校	在学して いる学校 (注)	③
	母	<b>横浜 奈美</b>	×△	給与・事業・公的扶助・年金 ・その他(児童扶養手当)	公立 私立					
	弟	<b>横浜 翔</b>	◇	給与・事業・公的扶助・年金 ・その他( )	公立 私立		横浜市立 △中学校		②	
	祖母	<b>横浜 はな</b>	××	給与・事業・公的扶助・年金 ・その他( )	公立 私立					
					公立 私立					
					公立 私立					
					公立 私立					
奨学金を必要 とする理由 (詳しく書いて ください。)		詳しくご記入ください。								
※ひとり親家庭については以下の記述を参考 (また、ひとり親家庭であり、児童扶養手当を受給しています(いません)。)										
横浜市奨学生として奨学金の支給を受けたいので願い出ます。 平成30年4月××日 (あて先) 横浜市教育委員会教育長										
本人・保護者がそれぞれ 自署してください。										本 人 保 護 者

(注) (以下の①～⑨の番号を記入してください。)

- ①小学校、②中学校、③高等学校、④高等専門学校、⑤専修学校(高等課程)、
- ⑥専修学校(専門課程)、⑦短期大学、⑧大学、⑨大学院を記入してください。
- 科目履修生・聴講生・研究生、専修学校(一般課程)、各種学校(予備校・
- 職業訓練校・農業大学校等)は除きます。

# 《推薦調書記入例》

〈様式②〉

第2号様式（第2条第1項）

(高校) 奨 学 生 推 薦 調 書			
氏名	横浜 一朗	在 学 学校名等	(課程・学年) 〇〇 高等学校 全日制 2年
学 業 成 績 (5段階で記入のこと)		推 薦 所 見	
学年 教科・科目	1年	年	<p>新学年を記入してください。</p> <p>所見欄は、3種類それぞれ必ずご記入ください。</p> <p>※新1年生の場合の推薦所見については、中学校作成の推薦証明書を確認していただき、「推薦証明書のとおり奨学生として適当と認め、推薦します。」と、記入いただければ結構です。</p> <p>2か年の場合は、年ごとではなく全履修科目の平均としてください。</p> <p>小数点以下第3位を四捨五入（必ず記入すること。）</p>
国語総合	4		
現代社会	4		
数学 I	5		
数学 A	3		
化学基礎	4		
体育	5		
保健	5		
美術 I	5		
英語 I	4		
家庭総合	4		
情報 A	5		
評定平均	4 . 3 6		
<p>中学校は教科名 高校は科目名を 記入してください。</p>			
<p>上記の者は、横浜市奨学条例第2条に該当するものと認め、推薦します。</p> <p>平成 30 年 4 月 〇〇 日</p> <p>(あて先) 横浜市教育委員会教育長</p>			<p>学校長印を押印 してください。</p>
<p>学校名 〇〇高等学校</p> <p>学校長名 △△ △△</p>			<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: auto;">印</div>
連絡先	<p>〒 番 号 :</p> <p>住 所 :</p> <p>電 話 番 号 :</p> <p>担 当 者 名 :</p>		
<p>不足書類等があった場合の連絡先になりますので、電話番号と担当者名を記入してください。</p>			

第2号様式（第2条第1項）

(高校) 奨 学 生 推 薦 調 書			
氏名		在 学 学校名等	(課程・学年) 高等学校 制 年
学 業 成 績 (5段階で記入のこと)		推 薦 所 見	
学年 教科・科目	年	年	学業に関する所見
			人物に関する所見
			収入状況に関する所見
評定平均			
<p>上記の者は、横浜市奨学条例第2条に該当するものと認め、推薦します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p>(あて先) 横浜市教育委員会教育長</p> <p style="text-align: right;">学校名</p> <p style="text-align: right;">学校長名</p> <div style="float: right; border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; text-align: center; line-height: 40px; margin-top: 10px;">印</div>			
連絡先	〒 番 号 : 住 所 : 電 話 番 号 : 担 当 者 名 :		

この書類は高等学校で作成してください。



<b>奨 学 生 推 薦 証 明 書</b>	
推薦生徒 氏 名 等	(課程・学年) 高等学校 制 年 氏 名
学業に関する 所 見	
人物に関する 所 見	
収入状況に 関する所見	
将来に対する 総合的所見	
<p>上記のとおり横浜市奨学条例第2条に該当するものと認め、証明します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p>(あて先)</p> <p style="text-align: center;">横浜市教育委員会教育長</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: right;"> <p>中学校名</p> <p>学校長名</p> </div> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 30px; text-align: center; line-height: 30px;">                     印                 </div> </div>	

※ 中学校には、特別支援学校の中等部、中等教育学校の前期課程、義務教育学校の後期課程を含みます。

※ この書類は上記該当生徒が横浜市奨学生の出願時に必要な書類ですので出身中学校で作成してくださいようお願いします。

上記すべての項目をご記入ください。収入状況に関する所見の欄につきましても、把握されている範囲で結構ですので必ずご記入ください。

(参考) 横浜市奨学条例〈抜粋〉(奨学生の資格) 第2条 この条例により奨学金を支給する生徒は、保護者が横浜市内に居住する者で高等学校に在学し、品行方正、学業成績優秀で学資の支弁が困難と認められるものでなければならない。

## (横浜市高等学校奨学生申請手続きの注意事項：高校用)

### 1 申請書類の提出について

- (1) 志願者が募集要項 1 ページの応募資格を満たしているか確認してください。  
※成績要件を満たさない方は不採用となります。
- (2) 「奨学生願書」「奨学生推薦証明書（新1年生のみ。出身中学校作成）」「家計の収入状況を示すすべての書類」「特別控除に関する書類（該当者のみ）」が揃っているか、記載もれ、誤りはないかを確認してください。  
※ひとり親家庭等については、願書の「奨学金を必要とする理由」欄に児童扶養手当受給有無の記載があるか確認してください。
- (3) 「奨学生推薦調書」を作成してください。  
※Word書式はホームページからダウンロード可能（URLは募集要項 1 ページ参照）
- (4) 提出方法：1 人ずつ ①願書 ②推薦調書 ③推薦証明書（新1年生のみ）④家計の収入状況を示す書類 ⑤特別控除に関する書類（該当者のみ）の順に重ね、左端上部 1 か所をホチキス止めしてください。

#### 提出期限・提出先

平成30年 4月27日（金）【必着】で 横浜市教育委員会事務局高校教育課 へ提出  
住所 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 045-671-3272

※志願者が直接提出するのではなく、必ず高校で取りまとめて提出してください。

※選考結果は、6月下旬頃に各高校へ通知します。

※前年以前に本奨学生として採用されている方は、提出不要です。各高校からの修業状況報告による確認を行い、新年度の継続を決定します。修業状況によっては継続できない場合があります。

### 2 「推薦調書」作成上の注意

- (1) 学業成績について
  - ア 応募の資格は、前年度（新3年生以上は前年及び前々年）の全履修教科・科目の評定平均が5段階評価で4.00以上です。
    - ・新1年生 → 中学校第3学年の全履修教科
    - ・新2年生 → 高等学校第1学年の全履修科目
    - ・新3年生以上 → 前年と前々年の2年間の全履修科目
  - イ 指導要録に基づき5段階で成績を記入し全履修教科・科目の平均を記入してください。  
※書ききれない場合は、1年生は出身中学校の成績証明書、2年生以上は学校所定の成績証明書の添付をもって記載に代えることができます。  
※「成績証明書」を添付した場合も、評定平均を記入してください。  
※小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで記入してください。
- (2) 推薦所見について
  - ア 推薦所見欄は、すべての項目をご記入ください。
  - イ 新1年生の場合、中学校で作成した推薦証明書が厳封されている場合がありますが、高校で開封し、必ず推薦内容を確認したうえで、推薦調書を作成してください。推薦所見欄は、記入例を参考に作成してください。

## 横浜市高等学校奨学金事業における 「個人番号（マイナンバー）」の取扱いについて

平成27年10月5日に施行された「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」（通称「マイナンバー法」）にかかる個人番号（以下マイナンバー）について、横浜市高等学校奨学金の選考・給付事務では収集・保管を行いません。

つきましては、奨学生申請書類の提出において、マイナンバーが記載される可能性のある書類（平成29年分源泉徴収票等）は次の点についてご注意くださいをお願いします。

- ① マイナンバーが記載されていない書類をご提出ください。
  - ② やむを得ずマイナンバーが記載されている書類をご提出される場合、マイナンバーが記載されている部分の表面及び裏面を油性マーカーで塗りつぶす等、判読できないようにした上でご提出ください。
- ※ マイナンバーが読み取れる状態の申請書類が提出された場合は、書類の受領後に油性マーカーで塗りつぶす等、すぐにマイナンバーが判読できないようにした上で保管いたします。

お手数をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。